

⑯日本国特許庁 (JP)

⑮実用新案出願公開

⑰公開実用新案公報 (U)

昭59—94310

⑯Int. Cl.³
G 02 B 7/26

識別記号

厅内整理番号
6418—2H

⑮公開 昭和59年(1984)6月27日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑯光ファイバコネクタ

⑰実 願 昭57—189365

⑰出 願 昭57(1982)12月15日

⑰考 案 者 津田浩二

東京都板橋区前野町2丁目36番

9号旭光学工業株式会社内

⑰出 願 人 旭光学工業株式会社

東京都板橋区前野町2丁目36番

9号

⑰代 理 人 弁理士 三浦邦夫

⑯実用新案登録請求の範囲

(1) コネクタ外筒；このコネクタ外筒内に嵌入される一对のコネクタ内筒；この一对のコネクタ内筒の軸孔の先端から接続端面側に向けて徐々に径を縮小させて形成したテーパ孔；光ファイバを保持し上記コネクタ内筒の軸孔に進退可能に挿入される光ファイバ保持筒；および上記コネクタ内筒のテーパ孔のテーパに対応する外側テーパと、接続すべき光ファイバの端部を嵌入させれる軸部V溝とを有する、二以上に分割された截頭円錐体からなる光ファイバ挿着部材を備え、この光ファイバ挿着部材は、上記一对のコネクタ内筒のテーパ孔内にそれぞれ挿入され、それぞれ上記光ファイバ保持筒により光ファイバの接続端面側に押圧されることを特徴とする光ファイバコネクタ。

(2) 実用新案登録請求の範囲第1項において、光

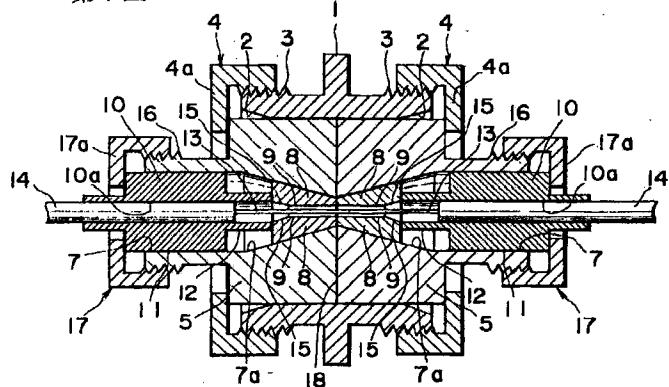
ファイバ挿着部材の軸部V溝の後端部には、光ファイバの接続端部の挿入を容易にする拡径テーパ部が形成されている光ファイバコネクタ。

図面の簡単な説明

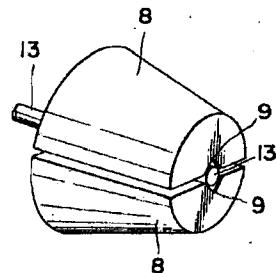
第1図は本考案の光ファイバコネクタの実施例を示す接続状態の縦断面図、第2図は組立状態の一対の光ファイバ挿着部材の斜視図、第3図は同正面図、第4図は光ファイバ挿着部材の単体の斜視図、第5図は光ファイバ挿着部材の他の実施例を示す斜視図である。

1 ……コネクタ外筒、4 ……締結環、5 ……コネクタ内筒、7 ……軸孔、7a ……テーパ孔、8 ……光ファイバ挿着部材、9 ……V溝、10 ……光ファイバ保持筒、13 ……光ファイバ、14 ……光ファイバ保護被覆、17 ……第二締結環、18 ……接続端面。

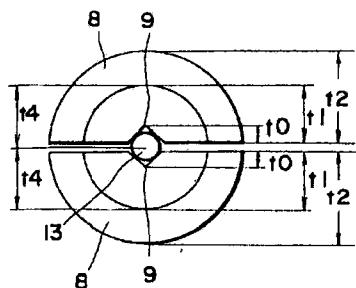
第1図



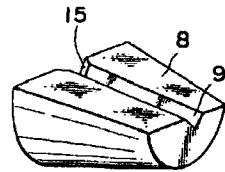
第2図



第3図



第4図



第5図

